

西村代表理事(右端)や相談員の話聞く深谷会長(左端)らの一行



## 「依存問題」で深谷会長ら沖縄へ

### 「相談」の現場を取材

#### リカバリーサポート・ネットワークで

ばちんこ依存の問題に対して、

日遊協は6団体会議の開催、啓発

ティッシュの配布など取り組みを

強めているが、深谷友尋会長はじ

め5人が7月22～23日、沖縄のリ

カバリーサポート・ネットワーク

(RSN)を訪れ、相談現場の実

際を取材、調査を行った。日遊協

から山田久雄副会長、茂木欣人風

営法PTリーダー、伊東愼吾常務

理事、全日遊連からは阿部恭久都  
遊協理事長が参加した。

22日、西村直之RSN代表理事

との話し合いでは、相談運営上の

問題点、財政の課題、今後の組織

強化などについて、率直に意見交

換された。23日には中頭郡西原町

の事務所まで相談員や事務局員の話

を聞いた。へ本人の相談が7割で

相談機関としては非常に多い、相

談時間は20分程度が中心、お

おむね真面目な相談だが負け

た腹いせの人、無言電話など

もあるなど細かい点も含め

て報告された。

相談員は3人常駐(他に週

1勤務が1人)している。「毎

週の反省会や外部への研修な

ど勉強していますが、なかなか

難しい仕事で、誰でもとい

うわけにはいかない」「ホール

の従業員の方の相談もある」

「PRのティッシュを置くの

は素晴らしい。出来ればまと

まった資料的なものをホール

に置いてほしい」「匿名での相談な  
ので、あとの追跡ができないのが、  
歯がゆいところ」など様々な意見が  
出された。

深谷会長は「実際に聞いて、相談

も見て大変参考になり、受けた刺

激を生かしたい」としながら「ティ

ッシュなどさまざまな活動で、急

激に相談が増えるようなことがあ

れば早急に対処します」と約束した。

#### 依存問題で6団体代表者会議

#### 呼びかけを多角的に 実態調査の具体化へ

パチンコ産業の6団体代表者会

議が7月3日、東京・千代田区

のグランドアーク半蔵門で開かれた。

日遊協・深谷友尋会長の進行で、

全日遊連・青松英和理事長、日工

組・市原高明理事長、日電協・兼

次民喜副理事長、全商協・中村昌

勇会長、回胴遊商・伊豆正則理事

長ら各団体幹部25人がパチンコ依

存(のめり込み)と今夏の節電に関

して協議した。

依存問題については各代表とも

その重要性を認識し、お客様への

呼びかけ、社会へのPR、実態調

査等を強化することで一致し、さ

らにパチンコの大衆娯楽としての

有効性をアピールする必要も話し  
合われた。

当面の課題として、リカバリー

サポート・ネットワークの呼びか

けポスターを全国のホールに張り

出すことをさらに徹底する。東京、

神奈川、千葉のホールでは、依存

に注意するようプリントしたポケ

ットティッシュをホールに置きフ

ァンに利用してもらうことを決め、

今後全国的に展開をはかる。

子供の車内放置については、子

供連れ駐車禁止と駐車場見廻り時

間の徹底、数年続けられていた回

胴遊商加盟の販社社員の見廻りに

続いて全商協も組織として検討に

入ることになった。依存の実態に

入るようになった。依存の実態に

ついての資料が不足しており、6

団体としては信頼できる調査機関

に依頼し、今後の活動やPRに生

かせるデータを作成する。また、

活動のメッセージとして「パチン

コは、適度に楽しむ遊びです」で

統一することになった。

今夏の節電に関しては、もっと

も必要とされる関西地区では休業

も含め15%の節電を達成していく

ことが表明され、それぞれの地域

で状況に応じて対策をとることが  
確認された。

# 深谷会長に警察協力賞

## 民間人では最高位の警察表彰



警察協力章を手にする深谷氏

深谷友尋日遊協会長が7月1日付けで、警察庁長官から警察協力章を贈られた。同章は警察業務に

協力した民間人に授与される最高位の警察表彰。深谷会長は名古屋市の天白区の遊技場組合長だった1979年、設立されたばかりの愛知県天白区防犯協議会の役員に就任、同時期に新設された天白警察署防犯課とともに、以後33年にわたり地域の防犯活動に取り組んで成果をあげたことが評価された。例えば、盆踊りやコンサートなどいろいろなイベントを企画して、古くからの住民と新しい住民との交流と連帯を強め、地域ぐるみで防犯意識を高めていった。とくに、

パチンコ店の店長が暴力団員に射殺された事件をきっかけに、住民たちがこぞって暴力追放と地域の安全に立ち上がり、決起集会を開くなどして暴力団事務所を追放した。「パチンコ業も地域の安全が確保されていないと成り立たない。お客様も地域の人たちですから。これから地域に密着して防犯活動をしていくつもりです」と深谷氏は語っている。

### 全日本社会貢献団体機構

## 都遊協に貢献大賞

### 26件の事業を助成

全日本社会貢献団体機構(堀田会長)の第7回社会貢献大賞表彰式と平成24年度助成金贈呈式が7月19日、東京・新橋の第一ホテル東京で行われた。

社会貢献大賞には、東京都遊技業協同組合の「石巻湊地区ボランティア隊派遣」事業が受賞した。事業内容は、ホール従業員有志でボランティア隊を編成、延べ31隊242人を派遣し、がれき撤去、

側溝の汚泥除去等にあたったほか、軽トラック、高圧洗浄機、一輪車等の作業用物資を贈るなど、災害からの復旧に貢献したというもの。

助成金贈呈式では、東日本大震災関連、コミュニティ強化支援、学術文化の振興、命を大切にすることを研究活動、子どもの健全育成など26件の事業に対して、総額6040万円の助成を発表した。

同機構は全日遊連が母体となり、学識経験者、文化人、政財界関係者が参加して設立された任意団体。組合会員の社会貢献に対する顕彰を行い、また一般の学術・文化などの社会貢献活動に助成している。

### 不正対策室会議

## ファンから659件の情報

不正対策室会議(室長・伊東慎吾日遊協常務理事)は7月13日、日遊協本部会議室で開かれPSIO(不正対策情報機構)への入力報告を行い、委員12人がゴト・不正情報について検討した。

6月のPSIOオープンネット(業界及び一般ファンからの不正情報)は、業界から22件、一般ファンから659件の入力があった。一般ファンの入力数は昨年6月(661件)

に比べ、ほぼ変化はなかった。

ゴト情報では、情報の上りが少なく課題は続いている。全日遊連に集中するように各団体で合意したが、効果があまり出ていない。ゴトが少なくなったといえる状況ではなく、対応について協議した。不正情報では、依然として出玉の異常を訴えるものが多いが、その内容にかなりの誤解も含まれている。貯玉・再プレーの手数料についての不正を入力するものが見られ、警察の通知が浸透し始めている。

### インターネット広告協議会

## 6月のチラシは大幅増

パチンコインターネット広告協議会(日遊協、凸版印刷株、IMC(株)で構成)が7月6日、日遊協本部会議室で開かれた。電子チラシ広告のポータルサイト「ShufuO!」(凸版印刷株運営)に掲載しているネットチラシ(パチンコのチラシ power by ShufuO!)の6月の掲載枚数が報告された。6月は2640枚で、5月より500枚近く増え、順調に推移している。今年度第1・四半期(4~6月)の合計は6738枚となった。

## すすきの・ごみ拾いクリーン作戦

# 北海道支部からは19人

遊技業、観光協会  
など150人で

北海道の観光シーズンを前にして、札幌観光の顔・すすきの地区をきれいにするため、7月3日朝、北海道のパチンコ業界、すすきの観光協会、中央署すすきの交番から総勢約150人が参加して「すすきの・ごみ拾いクリーン作戦」が展開された。パチンコ業界は回

胴式遊技機商業協同組合（北海道支部）、北海道遊技機商業協同組合

## 異色、交番のお巡りさんも

札幌遊技業協同組合、社団法人日本遊技関連事業協会北海道支部の4団体の有志で、このうち日遊協からはボランティア派遣隊北海道支部隊を中心に19人が参加した。



松谷日遊協北海道支部長があいさつ



朝の街角を行くごみ拾いチーム

参加者は午前9時半、すすきの地区の一角、札幌市中央区南8条「市民活動プラザ星園」裏グラウンドに集合した。日遊協北海道支部、松谷明良支部長が主催者側を代表して、「この活動は一昨年に回胴遊商が行いましたが、今回は遊技業界の有志に多数参加していただいただけでなく、観光協会、それに地区の治安を守っていただ

お忘れなく」という注意があった。参加者は10人前後に班分けされ、各人がビニールのごみ袋とごみをつまむトングを持って受け持ちの区域に散っていった。

## 約2時間で10袋の成果

クリーン作戦の範囲は国道36号線から南9条通、西1丁目から6丁目のいわゆるすすきの地区。飲食店が並ぶ表通りよりも、奥に入ったマンション、ホテル、事業所などの一帯にごみが多かった。参加者たちは道路脇や植え込みの中の吸い殻、紙くず、空き缶、空きビン、ペットボトルをつまみ上げ、袋に放り込む。約2時間のクリーン作戦を終えて、元のグラウンドに集合した。10袋分のごみが集まった。

## リサイクル推進委員会

## 実態調査の集計報告

### 違反選定業者で協議

第59回遊技機リサイクル推進委員会（座長・篠原弘志日遊協専務理事）は7月23日、日工組会議室で開かれた。遊技機リサイクル選定業者の（株）昌栄（愛知県小牧市）にかかわる違反行為についての審議が行われた。日工組の調査によると、

廃棄処理報告された遊技機が実際には処理されておらず、別のルートで販売されていた。審議では、遊技機リサイクル業者選定要綱の第7（取消し等）に則って取消処分とする意見が強かった。同社是一般社団法人遊技機リサイクル協会の指定業者でもあり、同協会はすでに7月9日付けで同社との契約解除を通知している。

平成23年度リサイクル選定業者実態調査（11年4月～12年3月）の集計が報告された。40社が回答した。リサイクル処理した遊技機台数はパチンコが本体73万2040台（前年度より約18万5000台減）、盤105万5967台（同約19万台増）、枠14万782台（同約3000台増）、処理量2万8933トン（同約2600トン減）だった。パチスロは本体32万3754台（同約12万8000台増）、処理量は1万2232トン（同約5000トン増）だった。排出者は、パチンコではメーカー62・8%、ホール30・6%、パチスロではホール45%、メーカー40%の順だった。残りは販社、その他・運送業者となっている。

# パチンコ博物館が再開

## 千葉県旭市で8月5日に旧館の2倍半 380台展示

一昨年暮れまで東京・東上野の「パチンコ村」にあったパチンコ博物館が8月5日、千葉県旭市で「日本遊技史研究会・パチンコ



6月28日のプレス発表会であいさつする牧野氏（前列右端。左隣は八幡氏）

博物館」として装いも新たに再開館する。新博物館の所在地は千葉県旭市の国道126号線沿いであり、スロットのホールだった建物（平屋）を改装した。敷地面積426㎡、建物は遊技機展示スペース322㎡、休憩・資料展示スペース40㎡。展示されている遊技機は、牧野哲也日本遊技史研究会主任研究員（旧博物館館長）の收藏品を中心にパチンコ等（雀球、アレシジボールなど含む）254台、スロット126台の計380台。

旧博物館の常設展示数（パチンコ148台）と比べて2倍半に増えたが、それでも牧野氏の收藏品の2割しか展示できていないという。

旧博物館時代からの支援企業、ヤワタグループが中心となり、再開館にこぎつけた。牧野氏は「日本固有の娯楽として市民権を得ているパチンコでありながら、資料館的施設がないのはおかしい。業界も資料を後世に残そうという意識が希薄だ。業界共有の財産として後の世代にバトンを渡すために

不転の決意でやっていきたい。今回とくに、パチンコの歴史的経緯を追った展示は初めてだと思う」と抱負を語った。また、ヤワタグループの八幡正毅会長は「立地条件から見ると、上野のように通りがりの人が飛び込んでくることは考えられない。業界の皆さんが考へて役に立ててくれたらいい」と述べた。

### 当面は日曜日だけ開館

当面は、毎週日曜の午前11時から午後4時まで5時間だけ開館する

### 中部支部セキユリティー対策部会 情報交換網を強化

中部支部セキユリティー対策部会は5月29日、名古屋市のアイリス愛知で中部遊商との情報交換会議を開いた。支部からは山口悟支部長、足立利美部会長以下23人が出席し、中部遊商セキユリティー委員会からは河合敏夫委員長、また今回からホールの三京観光・竹内慶隆社長、有美観光・新美保則代表取締役も参加した。

足立部会長は「各諸関係団体とともに情報交換を行い中部支部の強みを発揮したい」とあいさつし、サミー製遊技機のピアノ線ゴト、

る。また、上野時代のように試打は行わない方針だ。博物館へのアクセスは、①高速バス（京成）東京駅八重洲口前発銚子市内・犬吠崎行きに乗り海上（うなかみ）下車（所要時間約1時間40分）②JR総武本線旭駅下車（東京駅発特急「しおさい」で約1時間半）+タクシー5分 ③東関東自動車道・大栄ICから50分。

所在地：〒289・2511  
千葉県旭市イ4212の11  
TEL0479・755・4766  
FAX0479・755・4786

多発する磁石ゴトなどについて協議された。

### 愛知県ゴト情報対策協議会 「花の慶次」ゴトなど

愛知県ゴト情報対策協議会が6月6日、名古屋市の愛知県遊協役員室で開かれ、日遊協から山口悟支部長、足立利美セキユリティー対策部会長ら6人、愛遊協から5人、岐阜県遊協、三重県遊協のオプザーバーなど16人が出席した。

「CR花の慶次く焔」に対する不正基板、「北斗の拳 救世主伝説」「サンサンハナハナ」のゴトなどについて、報告、検討が行われた。



国道沿いに建つ新パチンコ博物館

## 福家聖美さん退職

日遊協本部事務局員、福家聖美氏が7月17日付で退職した。福家氏は2007年6月から本部事務局員となり、総務、遊技機取扱主任者講習・試験にたずさわった。その後広報とPSIO(遊技産業不正対策情報機構)の職員を兼務して、日遊協の運営に大きな貢献をした。

## 新規入会5社

7月19日の第2回定例理事会で5社(正会員2社、賛助会員3社)の新規入会が認められた。

### ●新規入会正会員

▼有限会社アクシス  
代表取締役・江野正和  
さいたま市南区別所6・16・3  
平成15年3月設立。遊技機の販売

役員1人、従業員15人(ほかにアルバイト)。遊技機取扱主任者が8人いる。東遊商に加入。(推薦人：(株)安田屋代表取締役加藤修)

### ▼株式会社メッセ

代表取締役・宮本君夫  
埼玉県本庄市駅前南1・2・1  
平成14年1月設立。ホール。役員

5人、従業員217人(ほかにアルバイト)。東京、千葉、埼玉、茨城、栃木、群馬に計14店舗を持つ。全日遊連、同友会に加入。(推薦人：日遊協専務理事篠原弘志)

### ●新規入会賛助会員

▼株式会社ぞみ総研

代表取締役・今村正典  
相模原市南区相模大野8・2・6  
第一島ビル

平成20年9月設立。許認可に関する助言・指導、コンプライアンス支援。役員3人。日遊協の風営法PTに有識者チームとして参加。(推薦人：日遊協専務理事篠原弘志)

▼パロックスシステムズ株式会社  
代表取締役・金城周成  
文京区湯島3・13・8  
湯島不二ビル5階

平成10年10月設立。遊技機のソフトウェア開発。役員5人、従業員11人。(推薦人：(株)アルファ代表取締役平岡久明)

▼アシード株式会社福岡支店  
代表取締役社長・河本充生  
福岡市東区原田4・16・8  
自動販売機運営。(推薦人：日遊協九州支部長樋口益次郎)

代表取締役社長・久岡征司  
6月20日  
▼有限会社公衆  
代表者・山田栄作  
6月27日  
▼株式会社ミズホ  
代表取締役社長・古城戸茂教

## 会員・業界消息

### ●社名変更

▼株式会社メイシー  
(旧社名・株式会社メイシー販売)  
7月1日

### ●代表者変更

▼株式会社バルテック  
代表取締役社長・久岡征司  
6月20日  
▼有限会社公衆  
代表者・山田栄作  
6月27日  
▼株式会社ミズホ  
代表取締役社長・古城戸茂教

# DATASPORT

## 貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	226	+4
東北	510	+2
東京	510	+3
関東	1465	0
中部	433	0
近畿	801	+5
中国	275	0
四国	134	+1
九州	589	-11
全国計	4943	+4

(2012年6月30日現在)

## 安定感増しているパチスロ

全日遊連は7月18日、店舗数、遊技機台数の2012年6月分を発表した。店舗数は、4月に前月比で1軒増えたが下げ止まりとは言えず、5月は11店舗減り6月も前月比31軒減ってしまった。昨年6月(1万1331店舗)と比べてもこの1年間で104店舗減っている。

遊技機では、パチンコ機が1年間でマイナス5万9636台(昨年6月288万4655台)パチスロ機はプラス9万9927台(昨年6月129万5214台)となった。パチスロは昨年4月から15か月連続で前月にくらべて増え続けており、安定感を増している。<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

## 全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成24年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	
1月	11,332	30	21	138(11)	2,869,178	1,360,139	156	4,229,473
2月	11,303	6	35	137(14)	2,856,929	1,364,366	156	4,221,451
3月	11,268	9	36	144(23)	2,843,391	1,369,425	160	4,212,976
4月	11,269	29	38	134(14)	2,838,019	1,385,142	160	4,223,321
5月	11,258	16	28	134(12)	2,833,776	1,390,461	160	4,224,397
6月	11,227	11	34	138(21)	2,825,019	1,395,141	160	4,220,320

6月27日  
▼株式会社二十一世紀グループ  
代表取締役・竹下裕助  
11月8日

### ●本社移転

▼高砂電器産業株式会社  
大阪市北区梅田1・12・12  
東京建物梅田ビル10階  
TEL06・6131・6777(代)  
FAX06・6131・9777  
7月9日

### ●事務所移転

▼株式会社エンタテインメント  
ビジネス総合研究所  
東京都千代田区外神田4・7・5  
石川興産ビル4階  
3月

富永茂氏(株式会社レジャー情報新聞社代表取締役社長)  
7月1日午後11時30分、心不全のため死去。70歳。葬儀は近親者のみの密葬として執り行われた。